



第240号

目 次

関 係 法 令……………2  
 諸 会 議……………2  
 学 事……………3  
 昭和58年度科学研究費補助金交付内定……………3  
 人 事 異 動……………3  
 学 内 諸 報……………4  
 名誉教授の称号授与……………4  
 海外渡航者……………4  
 第10回北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会  
 の開催……………5  
 昭和58年度東海北陸地区国立学校等安全管理協  
 議会の開催……………5  
 第7回国立大学46工学系学部長会議総会の開催…5  
 第18回東海・北陸地区国立大学事務局長会議の  
 開催……………6

シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(3)  
 <ヘルン文庫のことども>……………6  
 保健管理センターだより  
 <保健管理研究集会が終って>……………7  
 職 員 消 息……………9  
 主 要 行 事……………10  
 資 料……………13  
 昭和58年度富山大学学部学生数……………13  
 昭和58年度富山大学大学院学生数……………14  
 昭和58年度富山大学専攻科学生数……………14  
 昭和58年度富山大学専攻生，聴講生，研究生数…15  
 昭和58年度富山大学経営短期大学部学生数…15

関係法令

(官報掲  
載月日)

(官報掲  
載月日)

告 示

○郵便法等の規定に基づき郵便番号を定  
める件の表を改正する件(郵政791)

10・15  
(号外)

○大学の学部及び短期大学の学科の廃止を  
認可した件(文部125)

10・21

諸 会 議

昭和58年度第1回体育部会(10月3日)  
(審議事項)

- (1)昭和58年度体育系サークルリーダー研修会について
- (2)昭和58年度合宿研修・スキー講習会について

(1)情報処理センターの設置計画について

昭和58年度第3回事務協議会(10月17日)  
(審議事項)

- (1)定年制度について

昭和58年度第21回学寮補導委員会(10月3日)  
(審議事項)

- (1)学寮問題について

昭和58年度第3回事務改善委員会(10月17日)  
(審議事項)

- (1)事務改善について

昭和58年度第5回補導協議会(10月3日)  
(審議事項)

- (1)当面の学生問題について

計算機センター専門委員会(10月18日)  
(審議事項)

- (1)情報処理センターの設置計画について

昭和58年度第22回学寮補導委員会(10月5日)  
(審議事項)

- (1)学寮問題について

第7回学則改正検討小委員会(10月18日)

昭和58年度第24回学寮補導委員会(10月20日)  
(審議事項)

- (1)学寮問題について

昭和58年度第3回学園ニュース編集委員会(10月6日)  
(審議事項)

- (1)第43号学園ニュースの発行計画について

計算機センター運営委員会(10月22日)  
(報告事項)

- (1)業務報告
- (2)広報・教育小委員会報告

昭和58年度第23回学寮補導委員会(10月7日)  
(審議事項)

- (1)学寮問題について

(審議事項)

- (1)情報処理センターの設置計画について

計算機センター専門委員会(10月8日)  
(審議事項)

昭和58年度日本教育大学協会北陸地区第一部会・第二

部会合同会議（10月24～25日）

（審議事項）

- (1)日本教育大学協会北陸地区会規程の一部改正について
- (2)各県における小・中学校教員の採用状況と今後の見通し及び大学における就職指導の状況について
- (3)教員免許制度の改善について
- (4)教員免許基準案をめぐる諸問題について

- (1)東海・北陸地区国立大学長会議について
- (2)昭和59年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)入学試験合格者の判定について
- (3)転学科について
- (4)学生の懲戒について
- (5)学生の動向について

（審議事項）

- (1)編入学（学士入学）について
- (2)転学部について

昭和58年度第7回評議会（10月28日）

（報告事項）

第8回学則改正検討小委員会（10月29日）

学 事

昭和58年度科学研究費補助金交付内定

研究種目	研究代表者			研究課題	配分子定額（千円）		
	所属	職	氏名		昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度
奨励研究(A)	教養部	助教授	溝口常俊	幕藩社会の地域構造に関する研究	700	0	0

（転入によるもの）

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異動内容	任命権者
採用	58. 10. 11	松原孝則		臨時用務員(工学部作業員)	富山大学長
	"	岡島正子		教務補佐員(教養部)	"
併任	58. 11. 1	小林浩一	教授(東京大学物性研究所)	教授( " ) (58.11.1~59.3.31)	文部大臣
退職	"	永井正夫	臨時用務員(教育学部作業員)	昭和58年10月31日限り退職した	富山大学長
	"	酒井千世美	教務補佐員(教育学部)	"	"
死亡	58. 10. 23	野村幸弘	文部事務官(附属図書館)	死亡	
	58. 10. 30	酒井実	文部技官(人文学部・理学部配管工)	"	

学 内 諸 報

名誉教授の称号授与

富山大学名誉教授称号授与規則の一部改正に伴い、次の方々に對し、昭和58年9月16日付けで富山大学名誉教授の称号が授与されました。



名誉教授  
岩 淵 富 治  
東京商科大学卒業  
商学士

昭和34年10月富山大学助教授（経済学部）、同46年8月富山大学教授（経済学部）となり、昭和57年4月停年により退職されるまでの22年余りの永きにわたり終始熱心に学生の教育指導に専念された。

この間、富山大学学生部長、評議員4期を務め、学生の厚生・補導及び本学の管理運営に寄与された。

一方、経営学の教授として研究に従事され、研究論文として「会計用語に関するイタリア語と英語との関連」等、著書には「原価会計論」等発表され、本学のみならず地域社会の発展に貢献された。



名誉教授  
二 神 弘  
東京大学理学部地理学科卒業  
理学博士

昭和30年9月福岡学芸大学講師（久留米分校）、同43年10月富山大学教授（教養部）となり、昭和58年4月停年により退職されるまでの27年余りの永きにわたり終始熱心に教育・研究に専念された。

この間、富山大学附属図書館長を1期、評議員を3期務め、本学の管理運営に寄与された。

さらに、国内外の地図情報を蒐集し多種多様化する地図情報を系統的、総合的に整備充実し、教育・研究に有効に利用するため富山大学地図情報室の設置に努力し、現在の地理情報コーナーとしてその一部を供用する基盤を築いた。

一方、地理学の教授として研究に従事され、博士論文である「アメリカ合衆国における都市化現象の特性と都市化地域における黒人の空間構成の研究」をはじめ、「地方都市における若年人口の還流現象」、「都市と農村」、その他一貫して地方都市問題をあらゆる角度から究明し、広く関係学会等からも高い水準を示すものと評価されており、本学のみならず地域社会の発展に貢献された。

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	理学部	教授	小林 貞作	スーダン 連合王国	スーダン共和国ゴマ開発協力 基礎調査のため	58. 10. 19
						58. 11. 3
海外研修旅行	教育学部	教授	田中 晋	オーストラリア	甲殻類枝角目の生態に関する 研究と討論のため	58. 10. 6 58. 10. 20
	〃	〃	相馬 恒雄	大韓民国	韓国嶺南地塊と飛驒複合岩体の 地質対比に関する共同研究 のため	58. 10. 10 58. 10. 17

## 第10回北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会の開催

第10回北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会は、富山大学事務局大会議室において本学の当番で開催されました。

この協議会は毎年秋に行い、北陸地区の国立の大学及び高等専門学校の施設系職員の課長補佐以下で構成されているものです。

協議会は下記の日程で行われ、それぞれの分野で規則や通常の業務での疑義について意見の交換が行われ、盛会のうちに終了しました。

日	程
10月14日(金)	於 富山大学事務局大会議室
11時30分	受 付
11時40分	開会(全体会議)
12時20分	昼 食
13時10分	分 科 会
14時30分	施 設 見 学
17時00分	終 了

## 昭和58年度東海北陸地区国立学校等安全管理協議会の開催

去る10月25日(火)・26日(水)の両日、東海北陸地区国立学校等安全管理協議会が、富山市吉作城山の富山勤労総合福祉センター「呉羽ハイツ」において開催されました。

これは、国立学校等の安全管理を担当する者が職務上の諸問題について研究協議を行うことにより、その安全管理に関する能力の一層の向上を図り、もって職員の安全確保に寄与することを目的とし、今年度は本学が当番大学として開催されたものです。

なお、日程は下記のとおりです。

日	程
10月25日(火)	
9:30~10:15	受付
10:15~10:30	当番校(富山大学) 事務局長あいさつ 文部省大臣官房人事課副長あいさつ
10:30~12:00	講演「安全管理関係法令解説」

富山大学庶務部人事課長

増 井 重 信

12:00~13:00 昼食・休憩

13:00~15:00 講演「職場の安全管理」

富山労働基準局

安全衛生課長

吉 田 博 行

15:00~17:00 班別協議

安全管理担当者及び危害防止主任者の使命について

17:00~19:00 懇親会

10月26日(水)

9:00~10:30 講演「野外実験における安全管理」

富山大学理学部長

中 川 正 之

10:30~12:00 講演「危害防止の実際」

株式会社 不二越

総務部長 和 田 六 郎

12:00~13:00 昼食・休憩

13:00~13:20 株式会社 不二越へ

13:20~14:10 実地見学

14:10~14:30 富山駅(解散)

## 第7回国立大学46工学系学部長会議総会の開催

第7回国立大学46工学系学部長会議総会は、富山市吉作城山の富山勤労総合福祉センター「呉羽ハイツ」において本学の当番で開催されました。

総会は、協議事項として(1)大学院博士課程の設置促進について (2)教育体制に関する諸問題について (3)工学部入学者選抜の現状と問題点について、それぞれグループ別に分けて討議され、また、助手の待遇改善についてなど要望事項についても意見交換が行われ、盛会裡に終了しました。

なお、日程は下記のとおりです。

日	程
10月27日(木)	受 付 16時~ 懇親会 18時~20時
10月28日(金)	受 付 8時30分~ 総 会 9時~15時
	総会次第
(1) 開 会	9時

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| (2) 当番大学挨拶          | 富山大学  |
| (3) 議長選出            |       |
| (4) 新任学(部)長紹介       |       |
| (5) 第6回総会当番大学報告     | 山口大学  |
| (6) 第7回運営委員会経過報告    | 新潟大学  |
| (7) グループ別討議         | 9時40分 |
| 昼食                  | 12時   |
| (8) グループ別討議結果報告     | 13時   |
| (9) 議題審議            |       |
| イ. 協議事項審議           |       |
| ロ. 要望事項審議           |       |
| (10) 次年度運営委員会委員について |       |
| (11) 次年度当番大学について    |       |
| (12) 閉会             | 15時   |

### 第18回東海・北陸地区国立大学事務局長 会議の開催

第18回東海・北陸地区国立大学事務局長会議は、11月1日(火)、2日(水)の両日、富山大学の当番で開催され

ました。

会議は、2日間にわたり下記の日程で行われ、協議事項として(1)当面の諸問題について「臨調答申に伴う国立大学の行政改革、特に組織・機構への取り組みについて」、また、報告事項として(1)「東海・北陸地区国立学校等人事交流実施要項」についてそれぞれ意見交換が行われ、盛会のうちに終了しました。

#### 会議日程

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 11月1日(火)    |                |
| 13:00~13:30 | 受付             |
| 13:30~17:00 | 会議・記念撮影        |
| 17:00~18:30 | 会場移動           |
| 18:30~      | 懇親会(宿泊)        |
| 11月2日(水)    |                |
| 7:30~8:30   | 朝食             |
| 8:30~12:00  | 会議・見学(YKK黒部工場) |
| 12:00~12:40 | 昼食             |
| 13:00       | 解散(富山駅)        |

## シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(3)

### 〈ヘルン文庫のことども〉

富山大学名誉教授の会 高瀬重雄

いたいと思う。

まず初代の図書館長としての限りなく多い思い出のうちで、ヘルン文庫を確保したことをあげて置きたい。ヘルン文庫は、旧制富山高校の蔵書のなかでも、特に貴重な書物だったのだが、昭和25年ごろ、松江市からゆずり受けたいという交渉を受けた。相当する代価は支払うというのである。すると大学では、その代価で他の設備充実をしたいという意見があらわれた。しかし私は2つの理由で反対だった。ひとつはヘルン文庫は大学にあってこそ、研究の対象になるが、松江市の所有になれば観光の資料になるだけではないか。またこの文庫が富山にもたらされるには、南日恒太郎先生や馬場はる子女史の御厚志によること多大であった。それを売ってしまうのは、先人の御厚志を無にすることで、後輩としてしのびないことだというのである。幸いにして初代学長の鳥山さんは、京城帝大の図書館長もされたことのある方で、蔵書というものに深い理

富山大学が文理・教育・薬学・工学の4学部をもち、附属図書館や学生部などの新部局を加えて、いわゆる複合大学のひとつとして誕生したのは、昭和24年5月のことであった。

昭和24年といえば、日本はまだ占領軍の支配下にあったし、衣・食・住の困難も大変な時代である。私は大学設置に先立つ2年間ほどを、設置委員会の幹事をつとめ、また教官人事の内審委員の一人でもあった。しかも設置と同時に文理学部の教授に任ぜられ、また附属図書館長と学生部長の併任をも命ぜられたから、ただ多忙であったということが思い出されるばかりだ。楽しかったというより、苦しかったことの方が多いような気がする。でもあの頃一緒に仕事をした方々が、段々少なくなり、若かりし私も年老いてしまいたいまになると、思い出を書き綴って置くのも、あるいは老残に課せられた義務かも知れないと考え、あえて2、3のことを順序もなく記すこととした。おゆるしを願

解があられ、私の主張を全面的に支持して下さった。松江市長からの使者には、礼をつくしておことわりを申し上げた。ただし私は、ヘルン文庫の蔵書目録だけは、国内はもちろんアメリカその他の大学図書館にも贈って、それを富山大学の附属図書館が所蔵していることを広く知らせることにした。田部隆次氏を招いて、ヘルンに関する公開講演会を催したのもその頃であった。

初代の学生部長としてのさまざまな事件のなかでも、ときの文部大臣高瀬荘太郎氏や大蔵大臣の池田勇人氏に逢って、育英会の資金の増額を陳情したことを思い出す。学生がアルバイトなしで学業が続けられない現状では、学生の学問水準が低落する。よろしく奨学金を倍額にされたいという陳情であった。高瀬文相は、私と同姓だけれども、大臣もあまり背の高い方ではなかった。学者出身らしくおだやかな応対であった。しかし池田蔵相は、「君のいう事は、政府がやるとるじゃないか」と反論された。蔵相は京大出の私の先輩であったから、腹藏なく正直に話してくれたのだろうと思っている。しかしいま思い出してみると、一地方大学の学生部長が直接大臣に陳情するというようなことは、あり得ない越権の沙汰だったらしい。烏山学長も多少懸念されたようだが、何しろわれわれは若かったし、新しい大学の新興の意気に燃えていたのである。

また、あの頃学生部長は、ときどきアメリカ軍政部によび出しをうけた。1時間でよいから出頭せよとい

う電話である。電気ビル5階にあった軍政部に行ってみると、「学生が街頭デモをやっているが、学生部長は何故許可したのか」という質問である。「私は学生部長として、うちの大学の学生に対するガイダンスの責任者であるが、街頭デモの許可権は私にはない。街頭デモは、警察の許可を得て学生がやっている筈である。」と弁明するのだが、若い将校さんにはなかなかわかって貰えない。しかし福原という日系2世の軍政部の隊長さんは、その弟を私が教えたことがあるという因縁で、どことなく親しみのあいさつをかわしたりしているうちに、約束の1時間が過ぎたといつて、私はひきあげたことが多い。軍政部へ出頭の経験などは、私だけのものかと思う。

文理学部長としては、移転問題、改組問題など苦しかった思い出がすくなくない。楽しかったといえば、史学専攻の学生諸君といっしょに、発掘調査をしたときや、いっしょに旅行したときの思い出がまっさきに浮かぶ。しかしいずれにせよ前後30年にもわたる学園生活を、とにもかくにも無事に過し得たのは、先輩や同僚の格別の御厚情、また事務関係の皆さんの暖かい御支援の賜物であって、それこそ終生忘れ難い思い出である。深く感謝する次第である。

▶筆者：昭和19年6月高岡工業専門学校に着任  
昭和49年4月停年退職  
昭和49年4月富山大学名誉教授の称号授与

## 保健管理センターだより

### 〈保健管理研究集会が終って〉

今年の7月下旬、28、29の両日、城山の富山勤労総合福祉センター「呉羽ハイツ」において、富山大学が当番校となり本学学生部長本田弘運営委員長のもとに「第21回全国大学保健管理研究集会、東海・北陸地方研究集会」が100名をはるかに越す参加者を得て開かれた。また、これに先だつ7月27日には同所にて「保健婦・看護婦班第10回研究集会」が約50名の参加で開会された。

特別講演をいただいた富山医科薬科大学和漢診療室長・寺沢捷年先生の「現代医学と漢方」と題する漢方医学と生薬、和漢薬にまつわる基本的で分り易く、か

保健管理センター所長 浅井 亨  
つ有益で興味深いお話は多くの反響をよんだ。また、本学柳田友道学長の特別講演「医学微生物学の発展」は研究史に秘められた多くのエピソードと先輩科学者たちの心構えや態度について特に医学研究者に多大の感銘を与えた。

3つの分科会では「学生生活と保健管理業務」、「学生の保健管理（身体面）における問題点とその対策」及び「大学におけるカウンセリングの現状」をそれぞれテーマとして各分科会ごとに数名の話題提供者を中心に、定期健康診断実施の経済面、体制面、センター業務の電算化、また、肝疾患、腎疾患、血液疾患など

のスクリーニングや精密検査の諸問題、さらに学生の自殺や精神病、無気力学生の問題などを含めた幅広い問題が熱心に討議された。

最後に「学生の健康管理の現状と将来像」という全国大会のテーマに基づいてシンポジウムが開かれ、全参加者の熱気ある討議が行われ、2泊3日の研究集会在実りあるものとして盛会のうちに成功をおさめた。これは、ひとえに本学学生部職員各位を中心とする本学関係者の絶大なご支援とご盡力のおかげであったと保健管理センター関係者一同深く感謝している。

また、10月20、21日の両日は金沢大学を当番校として「第21回全国大学保健管理研究集会」が金沢市文化ホールにおいて開催され、700名近い参加者が早朝より集まり、3つの会場で行われた55の研究発表に熱心に耳を傾け、活発な質議と討論が行われた。さらにその前日、金沢大学において「昭和58年度国立大学保健管理センター所長会議」が文部省大学局学生課長及び同課事務官も同席して開かれた。7時間にわたる討議の間に数多くの要望や疑問が出されたが、文部省側からの解答は国会答弁なみのものが多かった。その中で「学生の健康白書作成のための調査実施要項案」が委員会から提出され、数多くの問題点や不備が指摘されたが、委員会で改善を加えることにしてともかくも昭和59年度に第1回を実施することが賛成多数で決定された。5年ないし10年に1度の割合で学生の健康白書を作成することは大いに有意義と考えるので、より念密な計画のもとに統一のとれた将来性のある調査方法を練り上げる必要があるかと思われるが「善は急げ」ということになった。この会議全体を通して、この数年間える雰囲気は、いかにして保健管理センターを大学における研究教育機関として確立するかが最大の課題であるように思われる。全国大学保健管理研究集会在今までの分科会方式を改めて、本年度より学会形式の研究発表の場となったのも同じ路線上的変化であるので、この点について少し私見を述べたいと考える。

戦後、各地に新制大学が設置された頃は旧制大学も含めて医学部附属病院を有しない大学での医療とか健康管理といったものは非常におそまつなものであった。医務室があって保健婦さんが常駐しているのが上の部で、多くの大学には静養室さえない有様であった。やがて医務室が作られ健康管理が叫ばれるようになり、昭和30年代の半ば頃からぼつぼつ設置されだした保健

管理センター的な組織が昭和40年代に入ってから急速に伸び、現在では国立大学の90%近くに保健管理センターに類する組織が作られ、かつ、公立大学、私立大学にもカウンセリングと健康管理を中心とする機構が設けられてきて、学生・教職員の日常の要請に応えつつある。

医系大学の増設に伴う医師不足の解消とともに大半の大学に常勤の医師が居るようになったが、内科系の医師が中心で一部に精神科医が常勤している位で、公衆衛生医がいる大学はほとんどない。健康管理という点から考えれば、衛生の専門家とカウンセリングの専門家がより必要な気がするが、諸般の事情からまだまだ先の問題であろう。一方では地域の医療体制の整備も好転してきたこともあって、大学での健康管理も疾病の治療や早期発見よりは健康の維持から積極的な健康の増進へと重点課題が変化してきた。この点はこれまでの各大学の常勤医の努力に負うところが大きい。

組織というものは一度発足すると拡大の方向に進むもので、大学の保健管理センターの中には健康体育部とか総合保健体育科学センターとして学部相当の機関にまで発展したところもある。その結果、必然的に多くの大学の保健管理センターでも大学内の一機関として当然の研究・教育が強く意識され、保健管理センターが単なるサービス機関から公認の研究教育機関へと脱皮する道が探られるようになってきた。

保健管理センターの教官が研究に従事するのは当たり前のことであるし、どのような研究をしようと自由であるが、機関としての保健管理センターがどのような研究をどのように進めるかには自ら限界があらうかと考える。学生・教職員の健康管理、健康増進の問題を抜きにした研究は正道ではないだろうし、人工心臓とか遺伝子組換えといった研究はセンターになじまないであろう。それほど極端ではないにしても専門医や研究者はややもすると狭い道に陥り易いので十分な注意が必要と考えられる。幸い、本学の中村先生、高尾先生は精神科、カウンセリングという専門をはるかに越えた広い視野からの研究・教育に従事しておられるので、保健管理センターが単なるサービス機関でないことを十分に理解して学生・教職員のみなさんがその研究・教育に支援と協力を惜しまれないようお願いする次第である。



◎ 退庁、退室の際には、電気・ガスの消し忘れ、タバコの吸殻の後始末に十分注意し、火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気、ガス、水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

## 職 員 消 息

### 計 報

#### 人文学部・理学部文部技官 酒井 実氏逝去

人文学部・理学部文部技官酒井実氏は、病気治療のため上市厚生病院に入院中のところ、10月30日逝去されました。

享年59才

ここに御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

酒井技官は、昭和34年5月富山大学会計課用務員に採用され、昭和40年10月施設課配管工に配置換となり、昭和43年4月文理学部に配置換、昭和45年10月文部技官に任官、昭和52年5月人文学部・理学部に配置換となり、その間24年有余の永きにわたり、明朗にして誠実な人柄とまじめな勤務でよくその職務を全うされました。

#### 《改 姓》

##### 経営短期大学部

助 教 授 下崎千代子(旧姓 寺西)

#### 《新 任 者》

##### 工 学 部

臨時用務員 松原 孝則

#### 教 養 部

教 授(併任)小林 浩一  
(物 理)

#### 附属図書館文部事務官 野村幸弘氏逝去

附属図書館受入係野村幸弘氏は10月23日逝去されました。

享年24才。

ここに御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

野村氏は、昭和52年5月岐阜大学医学部附属病院業務課に文部事務官として採用され、昭和55年6月富山大学経理部経理課に転任、昭和57年4月附属図書館に配置換えとなり、この間6年6か月余り誠実な人柄とまじめな勤務でその職務を全うされました。

教務補佐員 岡島 正子  
(化 学)

#### 《住所変更》

##### 教育学部

教 授 浅田 實

教養部

文部事務官 上木 祐一

経営短期大学部

助 教 授 下崎千代子

主 要 行 事

本 部

10/1~2日 経理部レクリエーション(於, 片山津温泉)  
 3日 第1回体育部会  
 第5回補導協議会  
 第21回学寮補導委員会  
 3~7日 物品定期検査  
 5日 第22回学寮補導委員会  
 5~6日 第19回41国立大学経理部長会議  
 (於, 神戸大学)  
 第38回東海・北陸地区国立大学等施設部課  
 長会議(於, 豊橋技術科学大学)  
 6日 第3回学園ニュース編集委員会  
 7日 第23回学寮補導委員会  
 11日 公開講座『現代を考える』開講  
 (於, 教養部)  
 11~13日 昭和58年度体育系サークルリーダー研修会  
 (於, 山野スポーツセンター)  
 12日 公開講座『現代のコミュニケーション』開講  
 (於, 工学部)  
 12~13日 昭和58年度著作権講習会(於, 岐阜)  
 12~13日 第21回全国厚生補導研究集会  
 (於, 岡山大学)  
 13日 第37回東海・北陸地区国立学校等庶務部課  
 長会議(於, 福井大学)  
 文部省共済組合実地監査  
 14日 第10回北陸地区国立学校施設担当者連絡協  
 議会(於, 富山大学)  
 17日 第3回事務協議会  
 第3回事務改善委員会  
 18日 学則改正検討小委員会  
 昭和59年度科学研究費補助金事務担当者説

明会(於, 京都大学)  
 18~19日 昭和58年度文部省共済組合全国事務担当者  
 打合せ(於, 東京農村年金会館)  
 19日 第21回全国大学保健管理研究集会第2回運  
 営委員会(於, 金沢大学)  
 20日 胃の検診  
 第1回教務委員会(持ち回り)  
 第24回学寮補導委員会  
 学生部係長連絡会  
 21日 第41回東海・北陸地区国立大学長会議  
 (於, 名古屋工業大学)  
 第41回東海・北陸地区国立大学事務局長懇  
 話会(於, 名古屋工業大学)  
 22日 第33回北陸三県大学学生交歓芸術祭  
 (於, 福井大学11/27まで)  
 25日 共済組合事務担当者研修会(於, 称名荘)  
 25~26日 昭和58年度国立学校広報・文書研究協議会  
 (於, 名古屋工業大学)  
 昭和58年度東海・北陸地区国立学校等安全  
 管理者協議会(於, 呉羽ハイツ)  
 26日 国大協理事会(於, 国立大学協会)  
 26~27日 第39回国立大学学生部次長協議会  
 (於, 山形大学)  
 27~28日 第64回東海・北陸地区国立学校等会計部課  
 長会議(於, 三重大学)  
 28日 循環器検診  
 第7回評議会  
 29日 学則改正検討小委員会

人 文 学 部

- |        |                               |        |   |
|--------|-------------------------------|--------|---|
| 10月7日  | 物品定期検査                        | 18日    | 専門教育課程移行者オリエンテーション<br>教育実習終了  |
| 12日    | 第6回15大学人文系学部事務長会議<br>(於、島根大学) | 19日    | 胃の検診  |
| 13~14日 | 第19回15大学人文系学部長会議<br>(於、島根大学)  | 20日    | 後学期授業開始   |
| 13日    | 学部教務委員会<br>教授会<br>人事教授会       | 21~22日 | 日本教育大学協会北陸地区第二部会理科学研究協議会(於、金沢大学)  |
| 15日    | 後学期授業開始<br>専門教育課程移行者オリエンテーション | 24~25日 | 日本教育大学協会北陸地区第一部会・第二部会合同会議<br>日本教育大学協会北陸地区第二部会社会科学科研究協議会(於、金沢大学)           |
| 18日    | 胃の検診                          | 25~26日 | 日本教育大学協会北陸地区第二部会音楽部門研究協議会(於、金沢大学)   |
| 19日    | コース対抗ソフトボール大会                 | 26日    | 昭和60年度入試基本構想委員会   |
| 21日    | 紀要委員会                         | 27~28日 | 秋季北陸地区教員養成学部事務長協議会<br>(於、上越教育大学)  |
| 26日    | 学部補導委員会<br>教授会<br>人事教授会       | 28日    | 循環器検診   |
| 27日    | 循環器検診                         | 28~29日 | 日本教育大学協会北陸地区第二部会国語科・書道科合同研究協議会(於、福井大学)<br>日本教育大学協会第二部会美術部門研究協議会(於、群馬県水上町) |

### 教育学部

- 10月1~2日 日本教育大学協会北陸地区第二部会教育学・教育心理学・特殊教育・幼児教育部門研究協議会(於、長野県戸倉町)
- 3日 教育実習問題協議会(於、岡山大学)
- 4日 日本教育大学協会第二部会研究会  
(於、岡山大学)
- 5日 附属学校運営委員会
- 5~6日 日本教育大学協会第二部会家庭科部門第30回総会(於、山口大学)
- 7日 物品定期検査
- 7~8日 日本教育大学協会北陸地区第二部会数学科研究協議会(於、信州大学)
- 13~14日 秋季全国国立大学教育学部長会議  
(於、鹿児島大学)  
国立大学教育学部・附属学校教育研究協議会(於、東京学芸大学)
- 14~15日 日本教育大学協会北陸地区第二部会外国語部門研究協議会(於、福井大学)  
日本教育大学協会第二部会書道部門研究協議会(於、秋田大学)
- 17日 学部教務委員会・補導委員会合同会議  
学部教務委員会  
教授会

### 経済学部

- 10月3日 物品定期検査
- 13日 学部教務委員会  
人事教授会  
教授会
- 14日 専門教育課程移行者オリエンテーション
- 15日 論集委員会
- 17日 後学期授業開始
- 19日 学部補導委員会
- 24日 学部補導委員会
- 26日 学部教務委員会  
人事教授会  
教授会
- 28日 学部補導委員会

### 理学部

- 10月7日 物品定期検査
- 14日 教授会
- 17日 後学期授業開始

- 10月17日 専門教育課程移行者オリエンテーション  
 18日 胃の検診  
 19日 教職科目に関するオリエンテーション  
 27日 循環器検診  
 国立22大学理学部長会議（於、学士会館）  
 28日 国立大学理学部長会議（於、学士会館）  
 31日 学部補導委員会

## 工 学 部

- 10月5日 物品定期検査  
 11日 北陸信越工業教育協会理事会  
 （於、信州大学）  
 11～12日 北陸信越地区国立大学工学部長会議  
 （於、信州大学）  
 12日 学部教務委員会  
 13日 教授会  
 工学研究科委員会  
 胃の検診  
 14日 専門教育課程移行者オリエンテーション  
 17日 後学期授業開始  
 19日 共通機器運営委員会  
 21日 係長連絡会  
 24日 循環器検診  
 27～28日 第7回国立大学46工学系学部長会議総会  
 （於、呉羽ハイツ）  
 31日 学部補導委員会

## 教 養 部

- 10月3～6日 物品定期検査  
 5日 推薦委員会  
 補導委員会  
 12日 教務委員会  
 教授会  
 昭和58年度公開講座「生きる」開始  
 （～11月16日まで15回）  
 15日 後学期授業開始  
 19日 講演会 演題「極低温が教える物理学」  
 講師 安達 健五氏  
 （名古屋大学 工学部 教授）  
 22～23日 親和会レクリエーション（於、五箇山）

- 10月26日 教務委員会

## 附 属 図 書 館

- 10月3日 物品定期検査  
 係長事務打ち合わせ  
 14日 給与振込み説明会  
 17日 附属図書館報編集委員会  
 18日 工学部雑誌点検  
 20日 胃の検診  
 21日 循環器検診  
 25日 係長事務打ち合わせ

## トリチウム科学センター

- 10月3日 物品定期検査  
 5日 トリチウム科学センター運営委員会専門委員会  
 11日 施設の定期検査  
 24日 トリチウム科学センター運営委員会

## 保健管理センター

- 10月19日 昭和58年度（第11回）国立大学保健管理センター所長会議（於、金沢大学）  
 第21回全国大学保健管理研究集会第2回運営委員会（於、金沢大学）  
 20～21日 第21回全国大学保健管理研究集会  
 （於、金沢大学）

## 経営短期大学部

- 10月1日 後学期授業開始  
 3日 物品定期検査  
 8～9日 第24回経短祭  
 13日 第10回教授会  
 20日 胃の検診  
 第1回入学者選抜学力試験委員会  
 27日 第11回教授会  
 第5回財務委員会  
 循環器検診

資 料

昭和58年度富山大学学部学生数

(昭和58年10月1日現在)

学部	学科(課程)	入学 定員	総 定員	教 養 部									学 部									合 計		
				1 年 次			2 年 次			2 年 次			3 年 次			4 年 次								
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文	人文学科	90	350	30	58	88	9	3	12	41	51	92	40	36	76	48	46	94	168	194	362			
	語学文学科	80	320	12	67	79	10	3	13	26	56	82	36	56	92	34	56	90	118	238	356			
	計	170	670	42	125	167	19	6	25	67	107	174	76	92	168	82	102	184	286	432	718			
教育	小学校教員養成課程	140	560	27	113	140	3	0	3	46	91	137	33	106	139	40	112	152	149	422	571			
	中学校教員養成課程	50	200	19	31	50	7	1	8	21	24	45	29	23	52	29	23	52	105	102	207			
	養護学校教員養成課程	20	80	5	15	20	1	0	1	2	18	20	1	18	19	0	19	19	9	70	79			
	幼稚園教員養成課程	30	120	0	30	30	0	0	0	0	29	29	1	29	30	0	35	35	1	123	124			
	計	240	960	51	189	240	11	1	12	69	162	231	64	176	240	69	189	258	264	717	981			
経済	経済学科	120	480	108	12	120	34	0	34	82	7	89	104	9	113	138	7	145	466	35	501			
	経営学科	120	480	90	30	120	29	3	32	82	12	94	107	14	121	126	19	145	434	78	512			
	経営法学科	60	240	44	15	59	13	0	13	48	8	56	50	4	54	54	6	60	209	33	242			
	計	300	1,200	242	57	299	76	3	79	212	27	239	261	27	288	318	32	350	1,109	146	1,255			
理	数学科	40	160	26	14	40	10	1	11	29	7	36	36	6	42	31	9	40	132	37	169			
	物理学科	40	160	36	4	40	22	1	23	29	3	32	41	3	44	34	3	37	162	14	176			
	化学科	40	160	24	16	40	8	1	9	21	15	36	20	15	35	24	15	39	97	62	159			
	生物学科	30	120	21	9	30	11	1	12	15	9	24	22	8	30	16	10	26	85	37	122			
	地球科学科	30	120	26	4	30	16	1	17	20	6	26	22	3	25	24	4	28	108	18	126			
	計	180	720	133	47	180	67	5	72	114	40	154	141	35	176	129	41	170	584	168	752			
工	電気工学科	50	200	49	0	49	15	0	15	50	0	50	50	0	50	45	0	45	209	0	209			
	工業化学科	45	180	40	4	44	17	0	17	31	4	35	45	4	49	31	5	36	164	17	181			
	金属工学科	40	160	40	0	40	21	0	21	27	3	30	46	2	48	38	0	38	172	5	177			
	機械工学科	50	200	50	0	50	29	0	29	44	0	44	45	0	45	48	0	48	216	0	216			
	生産機械工学科	40	160	40	0	40	21	0	21	39	0	39	35	0	35	34	0	34	169	0	169			
	化学工学科	40	160	38	2	40	20	0	20	33	0	33	50	4	54	23	1	24	164	7	171			
	電子工学科	40	160	38	2	40	11	0	11	39	1	40	37	0	37	36	2	38	161	5	166			
	計	305	1,220	295	8	303	134	0	134	263	8	271	308	10	318	255	8	263	1,255	34	1,289			
合 計		1,195	4,770	763	426	1,189	307	15	322	725	344	1,069	850	340	1,190	853	372	1,225	3,498	1,497	4,995			

## 昭和58年度大学院学生数

(昭和58年10月1日現在)

区	分	入学定員	総定員	1年次			2年次			合計		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計
理学 研究科	数子 <sup>※</sup> 専攻	8	16	2	0	2	4	0	4	6	0	6
	物理学専攻	8	16	4	1	5	6	0	6	10	1	11
	化学専攻	10	20	8	0	8	9	0	9	17	0	17
	生物学専攻	8	16	4	0	4	3	2	5	7	2	9
	地球科学専攻	8	16	4	1	5	5	0	5	9	1	10
	計	42	84	22	2	24	27	2	29	49	4	53
工学 研究科	電気工学専攻	10	20	7	0	7	3	0	3	10	0	10
	工業化学専攻	10	20	5	0	5	5	2	7	10	2	12
	金属工学専攻	8	16	9	0	9	5	0	5	14	0	14
	機械工学専攻	10	20	3	0	3	4	0	4	7	0	7
	生産機械工学専攻	8	16	3	0	3	2	0	2	5	0	5
	化学工学専攻	8	16	6	0	6	6	0	6	12	0	12
	電子工学専攻	8	16	8	0	8	6	0	6	14	0	14
	計	62	124	41	0	41	31	2	33	72	2	74
合計	104	208	63	2	65	58	4	62	121	6	127	

## 昭和58年度専攻科学生数 (昭和58年10月1日現在)

区	分	入学定員	男	女	合計
文学専攻科		10	※ 10	※ 6	16
教育専攻科		5	1	5	6
経済学専攻科		10	0	0	0
合計		25	11	11	22

注：※は57年度入学生それぞれ1名含む。

## 昭和58年度専攻生，聴講生，研究生数

(昭和58年10月1日現在)

区 分	専 攻 生			聴 講 生			研 究 生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人 文 学 部				3	5	8	2		2
教 育 学 部				5	4	9			
経 済 学 部				1		1	1		1
理 学 部				2		2	5		5
工 学 部				1		1	9		9
教 養 部					1	1	7	2	9
合 計				12	10	22	24	2	26
学 部 卒 以 上				12	7	19	23	2	25
上 記 以 外					3	3	1		1
合 計				12	10	22	24	2	26

## 昭和58年度経営短期大学部学生数

(昭和58年10月1日現在)

区 分	入 学 定 員	総 定 員	現 員											
			1 年 次			2 年 次			3 年 次			合 計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
経営管理専攻	60	180	29	23	52	41	7	48	42 (2)	15	57 (2)	112 (2)	45	157 (2)
経営・法律専攻	40	120	23	8	31	28 (1)	14	42 (1)	28 (1)	12	40 (1)	79 (2)	34	113 (2)
計	100	300	52	31	83	69 (1)	21	90 (1)	70 (3)	27	97 (3)	191 (4)	79	270 (4)

( ) 書は内数で編入学生を示す。



編集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画  
富山市曙町8-4  
電話 (33) 3356(代)